

SIC Information

Vol.6

そのだインターネットキャンパスは、学習支援の手段のひとつとして挙げられる「e-Learning」を中心とした学習支援システムです。教材作成から講座運営まで総合的にサポートし、SICのシステムを活用して最大限の学習効果を引き出すことを使命としています。

SICとはSonoda Internet Campusの略称です。

そのだインターネットキャンパスの 高大連携事業

高大連携とは

そのだインターネットキャンパスのe-Learningシステムを利用し、高等学校の授業時間内で大学の講義内容を学習する『高大連携』への取り組みは、今年で七周年となりました。今年度も既に二校の高等学校が一年を通して高大連携科目を受講し、今後も高大連携科目受講校が増える見込みです。

インターネットキャンパスを活用した高大連携の取り組みは教育研究企画部が統括を行っていますが、実際に授業が開始され学習が修了するまで、授業の進捗状況の確認や、システム面の対応はそのだインターネットキャンパス側の役割となります。

現在、募集を行っている科目は、源氏物語の第一巻の桐壺から第四巻の若紫までを読み、古典一般の読解力の向上を目指す『源氏物語の世界』、日常的なげない不思議を歴史学や民俗学の方法で謎解きしていく『インターネットで学ぶ地域の歴史』、マイクロワールドAVというプログラミングソフトを利用し、ターゲット(亀)を自由自在に操る学習を行う『プログラミングの基礎』、ターゲットと遊ぶ『Adobe社のFlashを使用し、様々な機能を使用しアニメーションを作成してホームページ作成を行う』『動きのあるホームページを作る』の四科目です。

高大連携科目を受講していただくにあたり、初回の授業時には本学と高等学校との映像を兵庫県立教育研究所のテレビ会議システムを利用して双方の様子を映像としてつなぎ、「開講式」を行っています。開講式は本学からは毎年、学長・科目担当教員、そのだインターネットキャンパス所長が出席します。開講式中では、高等学校の代表の受講生より科目受講にあたり、目標や今後の抱負を発表していただく時間もありません。

そのだインターネットキャンパスでは、学内での取り組みだけでなく、高等学校との高大連携授業にも力を入れています。今回は、高大連携の様々な取り組みを紹介します。



今年度高大連携開講式の様子
(兵庫県立川西明峰高等学校)

高大連携科目の終了後、科目単位が修得されたと認められる場合は、特別聴講生として修了証が発行されます。特別聴講生が本学へ入学された際には、本学の授業科目の一つを取得したとみなし、既修得単位として認定されます。

高大連携の今後の予定としては、新規受講科目の追加、高大連携実施校の拡大を目標に、現在様々な取り組みを行っています。

兵庫県立川西明峰高等学校との 独自の高大連携開始

高大連携を実施する中で、独自の協定を組み、現在新しい分野での高大連携を実施しています。

兵庫県川西市にある兵庫県立川西明峰高等学校は、2006年度より本学の高大連携科目を受講していただいています。そのだインターネットキャンパスを利用していただき、今後の授業でより活用を広げていきたいとのことで川西明峰高等学校との独自の教材開発

を行う計画が持たれ、一昨年度より実施に向けての取り組みが始まりました。教材内容に関する打ち合わせや、教材作成後実際に試行を行い、今年度四月に今までの高大連携の枠を越えた高大連携を開始することができました。

現在、実際に受講されている内容は、文系大学志望者向けの英語に関するものです。e-Learningの利点とも言える授業時間外でも学習が行える長所を利用し、受講者全員が意欲的に学習に励んでいます。学習後のアンケートの中には「今回はこのシステムが体験できて、凄く楽しかったです。難しい問題もあったけど、勉強になりました。」との意見もあり、学習を重ねる度に英文読解の力が身につきました。また、e-Learningでの学習の楽しさを見出しただけのように、一年間を通じて取り組む予定です。

高等学校向けe-Learning体験授業 Sonoda e-Learning Highschool

高大連携は半期・または通年を通して学習を行いますが、高等学校での授業時間内の一コマを利用してe-Learningを体験する「Sonoda e-Learning Highschool」(以下SEH)も実施しています。

SEHは、高等学校で情報教育の授業時間内などに活用していただける内容となっています。高大連携用の教材とは異なり、SEH独自の教材を用意しています。

実際にSEHを利用し、授業を行った受講生の感想として、「普段の授業とは違うし、自分のペースで進められるところがすごく良かったです。」との感想をいただいています。大学の講義をより身近に感じていただけるよう、今年度は六科目、そのうち新たに二科目の教材を追加し、SEHは九月より順次募集を開始予定です。詳細については、別途配布する「Sonoda e-Learning Highschool」の募集案内チラシ、またはそのだインターネットキャンパスのホームページ内の『高大連携』より、『受講申込み』をご覧ください。

今後のそのだインターネットキャンパスの展開

学内での取り組み

学内でのそのだインターネットキャンパスの取り組みについては、学内で行われている講義を撮影、その後撮影動画の映像配信、新規教材の作成、調節などを行っています。

本学の大学三・四年生、短大二・三年生向けの「就職講座」では、そのだインターネットキャンパスを利用して、学内で行われる就職講座の内容を撮影後、そのだインターネットキャンパスにてストリーミング配信し、いつでも就職講座が閲覧できることが可能です。当口、講座を欠席した場合や、講座内で聞き逃した部分をも一度見直すなど自分自身で復習を行う際に便利です。また現在、就職対策用のe-Learning教材を新たに設け、後期には開始できるよう調整中です。そのだインターネットキャンパスを利用して、学生一人ひとりの就職支援を行う予定です。

その他、「インターネットセミナーⅤ」の科目では、従来の教材よりもパワーアップしたアニメーションを用いた動きや音声のある授業教材を作成し、後期に学内で授業を実施します。

生涯学習講座

今年度秋以降に開講予定の総合生涯学習センター主催の生涯学習講座にて、そのだインターネットキャンパスを利用して、授業を行うためのe-Learning科目を作成中です。科目を受講される場合、大学へ直接足を運ぶ必要がなく、インターネットに接続できる環境とパソコンがあれば、場所や時間を問わず、教材を学習することができます。

現在作成中の科目「日本語を学ぼう、教えよう」(仮)

では、日本に滞在している外国人や留学生に対して、日本語について教授する方法を、日本語の音声や発音時などのような仕組みで発音しているか等のイラストを用いてわかりやすく解説を行い、テスト問題等で普段何気なく利用している日本語について学ぶ講座です。

募集時期や受講されるにあたっての詳細情報については現在未定ですが、園田学園女子大学のホームページや総合生涯学習センターのホームページ、また、そのだインターネットキャンパスのホームページでも順次告知を行います。

携帯電話での活用

そのだインターネットキャンパスは、携帯電話でもアクセスすることができます。(※専門科目内の授業のみ)

携帯電話からは主教材の確認は行えませんが、テストアンケートを受けることができます。

テスト問題の場合、パソコンを利用せずに携帯電話から何度でもテストを受けることもできるため、主に検定対策の問題等で利用されています。アンケートも同様に、携帯電話から回答することができます。学生の出席

確認の際にアンケートに答え、内容を提出すれば出席となる授業もあります。

携帯電話でも利用できるインターネットキャンパスは、今後も学習の幅を広げ、利用方法を広めていきます。

今後の展開

そのだインターネットキャンパスでは、今後も事業拡大のため、近畿・四国地方の各高等学校向け「インターネットを活用した高大連携に関するアンケート」を実施しました。アンケート内容については今後の改善を通して、e-Learningをより広げていく、また、e-Learningの有効な活用を考え、利用していただくよう努力したいと考えています。

また、学内においても新規科目の開拓、学生が授業を受講する上でより楽しく勉強できるような教材を考え、作成していきます。

2009年度そのだインターネットキャンパス授業科目
(学内専門科目のみ)

No.	科目名
1	ネットワーク技術の活用 (2009前/文創)
2	情報科学デザインⅡ (2009前/文創)
3	博物館概論 (2009前/文創)
4	博物館各論Ⅰ (2009前/文創)
5	文化振興とコーディネート (2009前/文創)
6	通信・教材基礎 (2009前/文創)
7	情報スキルアップⅢ (2009前/文創)
8	美的創作と表現 (2009前/文創)
9	日本語の教育 (2009前/文創)
10	ビジネス入門 (2009前/文創)
11	夢と占い (2009前/文創)
12	システム開発 (2009前/文創)
13	インターネット・セキュリティ (2009前/文創)
14	エディタ入門 (2009前/文創)
15	情報科学デザインⅠ (2009前/文創)
16	メディアシステム概論 (2009前/文創)
17	総合健康特別講義(2009前/総健)
18	衛生学 (2009前/総健)
19	健康管理論Ⅱ (2009前/総健)
20	健康管理概論 (2009前/総健)
21	健康学基礎演習(2009前/総健)
22	食品学 (2009前/総健)
23	健康学演習・総合健康研究 (2009通/総健)
24	食事調査アンケート/自己の食生活マネジメント (2009/食栄)
25	治療補助論・演習 (フィジカルアセスメント技術) (2009前/看護)
26	治療補助論・演習 (バイタルサイン) (2009前/看護)
27	からだの構造学・機能学Ⅰ (2009前/看護)
28	からだの構造学・機能学Ⅱ (2009前/看護)
29	疾病治療論Ⅰ (2009前/看護)
30	成熟看護学援助論 (成人) (2009前/看護)
31	経験値セミナーⅢ(2009前/共通)
32	経験値セミナーⅥ (2009前/共通)
33	医学一般 (2009前/総健)
34	食品商品学 (2009前/生文)
35	2009 ネットワークとプレゼンテーション
36	情報社会と倫理 (2009後期)
37	博物館各論Ⅱ (2009後/文創)
38	まちづくりとイベント (2009後/文創)
39	祭りと芸能 (2009後/文創)
40	デジタルコンテンツ制作Ⅱ (2009後/文創)
41	怪異・怪談の文化 (2009後/文創)
42	インターフェイスデザイン (2009後/文創)
43	認知心理学 (2009後/文創)
44	メディア・コミュニケーション(2009後/文創)
45	公衆衛生学 (2009後/総健)
46	成人保健 (2009後/総健)
47	健康管理論Ⅰ (2009後/総健)
48	栄養学 (2009後/総健)
49	生活援助演習 (2009後/看護)
50	からだの構造学・機能学Ⅲ (2009後/看護)
51	からだの構造学・機能学Ⅳ (2009後/看護)
52	疾病治療論Ⅱ (2009後/看護)
53	コンピュータグラフィクス(2009後期)
54	ビジネス文書応用 日本語 (2009後期)
55	管理栄養士国家試験対策 (2009通/食栄)
56	地域看護活動論Ⅱ (2009通/看護)
57	インターネットセミナーⅠ (2009/共通)
58	インターネットセミナーⅡ (2009/共通)
59	インターネットセミナーⅢ (2009/共通)
60	インターネットセミナーⅣ (2009/共通)
61	インターネットセミナーⅤ (2009/共通)
62	2009 情報倫理(短大)
63	文化とメディア (2009/情コミ)
64	キャリア研究 (2009/国際)
65	言語コミュニケーション論 (2009/国際)
66	ビジネス日本語能力テスト (2009/検定)
67	就職ビデオ講座
68	公務員講座

2009年度の科目実施状況:合計68科目

■携帯電話向けそのだインターネットキャンパスのご案内



<https://sic.sonoda-u.ac.jp/sicmobile/>

※QRコードを読み取り可能な携帯電話をお持ちの場合、左のコードを読み取ってください。QRコード読み取り機能がない携帯電話をお持ちの場合は、上記のアドレスを入力してください。



そのだインターネットキャンパスの携帯サイトからは、専門科目内で稼働されている科目のテストとアンケートを行うことができます。パソコンがない環境でも手軽に学習できるのも便利です！

※現在ご利用の機種や環境によっては、携帯電話向けそのだインターネットキャンパスのホームページをご覧いただけません場合があります。

※専門科目内の科目を受講していない場合、科目の内容を閲覧することはできません。また、テスト・アンケートを実施していない科目もあります。

そのだインターネットキャンパスは、2000年の運営開始より今年で10年を迎えました。今後とも新たな学びの提案、様々な分野での教材開発に挑戦していきます。



SIC Information 第6号 2010年7月

編集・発行 園田学園女子大学 園田学園女子大学短期大学部 情報教育センター インターネットキャンパス
責任者 垣東弘一 発行担当 稲峰加織
TEL:06-6429-9909 (内線:3053) FAX:06-6424-2188 <http://www.sonoda-u.ac.jp/sic/>